

## 令和4年度 第4回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時 令和5年 2月 19日（日） 13：15～17：00  
会 場 宮前市民館 大会議室  
出席者 部会長 ・川西 和子（調査モデレーター・各種司会）  
副部会長 ・山本 良子（宮前第4地区民生委員児童委員協議会 会長）  
委 員 ・山本 太三雄（菅生分館利用者懇談会）  
・高久 實（宮前区全町内・自治会連合会 理事）  
・檜崎 光雄（市民委員）  
・當間 幸江（宮前区PTA協議会 副会長）  
・丸尾 明彦（川崎市立西有馬小学校 校長）  
欠席者 ・渡辺 美代子（宮前区文化協会 会計）  
事務局 宮前市民館 齊藤館長・岸本課長補佐・徳原係長  
菅生分館 田添分館長

会議の成立（委員8名中7名出席）

会議の公開・傍聴人 なし

### 次 第

- 1 あいさつ（市民館館長）
- 2 資料確認等
- 3 議 事
  - (1) 令和5年度市民自主学級・市民自主企画事業の提案について
    - ア 宮前市民館 プレゼンテーションおよび質疑応答
    - イ 菅生分館 プレゼンテーションおよび質疑応答
    - ウ 宮前市民館および菅生分館 市民自主学級・市民自主企画事業の選考について
  - (2) 報告事項
    - 宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業実施状況について
  - (3) 協議事項
    - ア 今期の研究報告書について
    - イ 令和5年度宮前市民館・菅生分館の課題別連携事業について
  - (4) 令和5年度 市民自主学級・市民自主企画事業の選考結果について
    - ア 宮前市民館
    - イ 菅生分館
  - (5) その他

配付資料

資料1 選考委員の皆様へ

資料2 令和5年度 宮前区市民自主学級・市民自主企画事業 企画提案書 実施要領等一式（事前送付）

資料3 令和4年度 宮前市民館社会教育振興事業実施状況

資料4 令和4年度 宮前市民館菅生分館社会教育振興事業実施状況

資料5 事業計画書（案）

- ・令和5年度宮前市民館課題別連携事業 「宮前フレンドおもちゃ病院」
- ・令和5年度宮前市民館課題別連携事業 「みやまえ子育てフェスタ」
- ・令和5年度宮前市民館菅生分館課題別連携事業 「おしゃべりサロンすがお」
- ・令和5年度宮前市民館菅生分館課題別連携事業 「菅生フレンドおもちゃ病院」

（参考）

●宮前市民館だより

第246号（2月1日発行）

●菅生分館だより

第175号（2月1日発行）

●宮前市民館事業チラシ

- 「スマホボランティアになりませんか？」 市民エンパワーメント研修
- 「防災についてもう一度見つめ直してみませんか？」 区地域人材育成事業
- 「スマホ相談会 2月」
- 「スマホ相談会 3月」 現代的課題学習事業
- 「生涯学習交流集会」
- 「親子で学ぶ春の足育講座&鉛筆の正しい持ち方講座」 市民講師活用事業
- 「みやまえ次世代交流フェス」 地域コミュニティ交流・学習事業

●菅生分館事業チラシ

- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」 課題別連携事業

●生涯学習情報誌 「ステージ・アップ」No. 244号

## 開 会

- 1 あいさつ（市民館館長）
- 2 資料確認等
- 3 議 事

### （2） 報告事項

宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業実施状況について

宮前市民館の社会教育振興事業実施状況について、徳原係長より「資料3」を用いて説明。

（補足説明）

- ・「青少年教室」に参加した高校生から、地域の若い世代（中高生から20代の社会人）の交流活動がしたいという意見が上がった。参加者から3名（中学生、高校生、社会人各1人）で企画し、3月に「みやまえ次世代交流フェス～サスティナブルってなんだろう～」を開催することになった。次年度も、輪を広げながら若い世代を取り込んだ活動を続けたい。
- ・3月11日に開催される「生涯学習交流会」は、昨年度審査を行った市民自主学級・市民自主企画事業の報告会を兼ねている。専門部会委員の皆様もご覧いただきたい。また、意見交換等あればご一報いただきたい。

菅生分館の社会教育振興事業実施状況について、田添分館長より「資料4」を用いて説明。

（補足説明）

- ・「家庭地域教育学級」「市民館保育活動」は12月20日に終了したが、1月に「同窓会」を企画し参加者同士、近況報告を兼ねて集まった。仲間づくりができているようである。
- ・各団体の活動内容や日程を「菅生分館だより」に掲載し、ウェルカムデーとして見学や体験を促している。今まで秋に実施していたものを今年度から年が明けてからの新年の実施に時期を変更したところ、様々な団体に参加があり好評のようである。

（質疑応答）

榎崎委員

「みやまえ次世代交流フェス～サスティナブルってなんだろう～」について、興味があり参加することは可能か。

徳原係長

対象は30歳以下となっているが、見学の形で可能である。

榎崎委員

素晴らしい活動内容が多いが、もっと広く知ってほしいと感じた。

高久委員

コロナ禍でもスマホ教室が継続しているのは理解できた。人気がある講座は、向丘出張所での開催を検討いただきたい。

徳原係長

昨年度より少しずつ検討している。今年度について、5月に開催した「シニアの社会参加支援事業」の一コマは向丘出張所を借りている。

3月に区役所危機管理担当と連携し開催する、「宮前区地域人材育成指針関連事業は、来年度は向丘出張所との連携で、出張所での開催を計画している。宮前市民館でも、連続講座を向丘出張所で検討して進めているところである。向丘地区の方も参加することで市民館を知ることに繋がるため、良いアイデアなどあれば伺いたい。

川西部会長

ウェルカムデーについて、菅生分館より詳細な説明が欲しい。

田添分館長

菅生分館だよりに、各団体の活動日時と活動内容を簡単に掲載し、活動日に気軽に見学や体験できることをPRした。菅生分館だよりを見た市民が体験や見学に訪れた。菅生分館は広報を手伝い、「菅生分館だより174号」に情報を掲載し、参加者を募った。

川西部会長

各団体への声掛けは菅生分館が行ったか。

田添分館長

各団体にウェルカムデーを提案し、協力可能な団体から、「菅生分館だより」に掲載する情報を集めた。

川西部会長

今回、5団体が掲載されているが、団体数が多い場合は号をずらして掲載するのか。

田添分館長

2月3月に活動がある団体を中心に、1月号から掲載している。

川西部会長

見学はしたいが、手続きがわからない市民にとって、一覧になっていると参加しやすい。「菅生分館だより175号」の1面は、場所や活動内容、地図や体験・見学の案内など、非常に良くまとまっている。市民館だよりをよりわかりやすいものにできないかということ、研究課題としているため、意見を伺いたい。

### (3) 協議事項

#### イ 令和5年度宮前市民館・菅生分館の課題別連携事業について

(補足説明)

課題別連携事業とは、地域の生涯学習の振興に向けて行政の関係部局や地域の関係団体等との連携、協働により実施する事業としている。事業の実施の決定については、専門部会での意見を参考にすると規定されているため、この場でご了承していただくものとする。

「宮前フレンドおもちゃ病院」「みやまえ子育てフェスタ」について、徳原係長より「資料5」を用いて説明。

「おしゃべりサロンすがお」「菅生フレンドおもちゃ病院」について、田添分館長より「資料5」を用いて説明。

(質疑応答)

川西部会長

おもちゃ病院は全国的に広まっているのだろうか。あざみ野地区センターなど、横浜市でも大々的に行われているようだ。今後も良い企画が広まってほしい。

その他、特に意見なし。一同了承。

#### ア 今期の研究報告書について

川西部会長

1月24日にプロジェクト委員会を開催した。今期の研究テーマを深堀し、話し合った。「届けたいターゲットに届けたい情報が行き渡っているのか」ということを考察した。議事録を簡単に説明したい。

- ・子育て世代を中心にインタビューを行った際、市民館だよりが届いていない、改善すべき点があるという意見が出た。他のターゲット層へもインタビューを行いたい。
- ・情報コンシェルジュの発想は良いが、常時安定して開催するためにスタッフを増強したり工夫したりする必要がある。
- ・市民館だよりについて、具体的に考察するため、他館の市民館だよりを入手し比較検討した。色合いやレイアウト、QRコードの使用やイラストの入れ方など麻生区の市民館だよりの評価が高かった。良い部分は取り入れたい。
- ・現状分析として、どのターゲットにどの情報を届けるか見定めるため、枠づくりをすることになった。具体的には、市民館が情報発信している内容をターゲット層ごとに分け、カテゴライズする作業を分担して行う。檜崎委員が作成した分類シートをもとに進めたい。
- ・「市民館活動」をもとに、現在多く情報が出ているターゲットはどこ

か、足りないターゲットはどこかの分析を行い、方法論として、市民館だよりをどのように改善すべきか、大きな方向性が確認された。次回のプロジェクト委員会は3月14日（火）にグループ室にて開催する。分担した分類シートを各自持ち寄り検討することになっている。

檜崎委員

「市民講師活用事業 親子で学ぶ春の足育講座&鉛筆の正しい持ち方講座」について、子供の靴は成長とともに買い替えが早いので、SDGsの観点からも、履けなくなった靴を持ち寄ってリサイクルすることを考えても良いのではないか。

川西部会長

子ども足の形は様々で、靴のリサイクルは難しいと聞いている。他にリサイクルできるものは活用していきたい。様々なアイデアを出してあげると良い。

#### (5) その他

岸本課長補佐

令和4年度宮前市民館専門部会は全て終了となるが、各委員の皆様は次年度も任期となるため、ご参加をお願いしたい。

閉 会